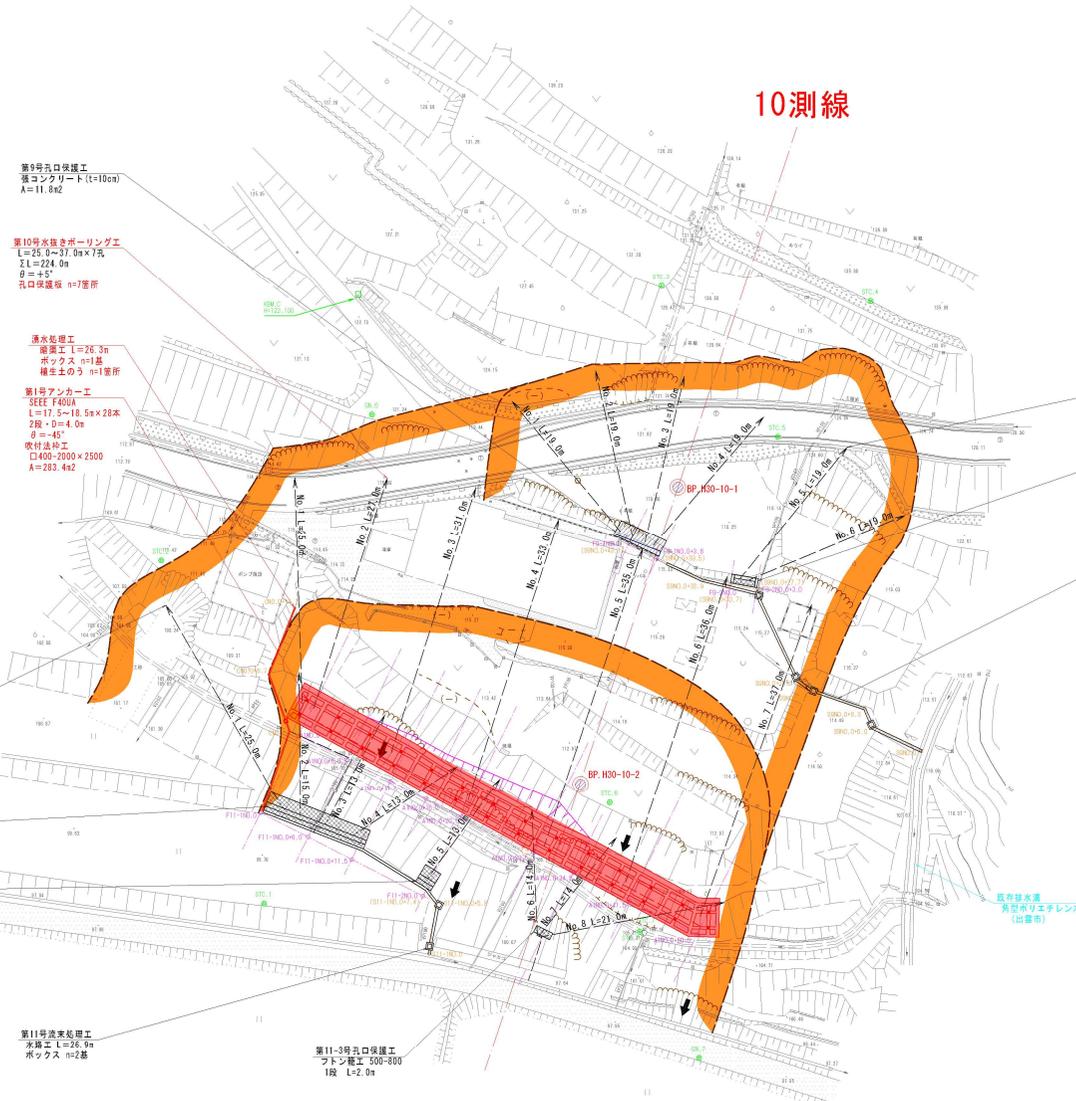


令和元年度（補正分） 地すべり対策事業 八幡地区 斜面改良工事

対策工法平面図
10測線

第1号アンカー工						
段	No.	アンカー長	削孔方位	傾角	施工地盤高	孔口座標 x y
上段	1	18.50m	N 86.6° E	-45°	108.55m	-85740.494 50763.070
	2	18.50m				-85744.493 50763.177
	3	18.50m				-85748.491 50763.284
	4	18.50m				-85752.490 50763.391
	5	18.50m				-85756.493 50763.325
	6	18.50m				-85760.493 50763.374
	7	18.50m				-85764.492 50763.481
	8	18.50m				-85768.490 50763.588
	9	18.50m				-85772.487 50763.752
	10	18.50m				-85776.481 50764.031
	11	18.50m				-85780.480 50764.138
	12	18.50m				-85784.478 50764.245
	13	18.50m				-85788.477 50764.352
	14	18.50m				-85791.439 50765.145
小計	25.9.00m					
下段	1	17.50m	N 86.6° E	-45°	106.78m	-85740.541 50761.301
	2	17.50m				-85744.540 50761.408
	3	17.50m				-85748.538 50761.514
	4	17.50m				-85752.537 50761.621
	5	17.50m				-85756.537 50761.691
	6	17.50m				-85760.535 50761.785
	7	17.50m				-85764.534 50761.892
	8	17.50m				-85768.533 50761.998
	9	17.50m				-85772.531 50762.118
	10	17.50m				-85776.528 50762.262
	11	17.50m				-85780.527 50762.369
	12	17.50m				-85784.526 50762.476
	13	17.50m				-85788.524 50762.582
	14	17.50m				-85792.282 50763.588
小計	24.5.00m					
合計	504.00m					



第9号水抜きボーリング工

孔番	掘進長 (取込地盤より)	掘進方位	孔口間隔	勾配	孔口標高
NO. 1	19.0m	N 28.0° E	+3"	116.6m (地盤高)	116.6m (地盤高)
NO. 2	19.0m	N 55.5° E			
NO. 3	19.0m	N 81.5° E			
NO. 4	19.0m	S 71.0° E			
NO. 5	19.0m	S 72.5° E			
NO. 6	19.0m	S 44.5° E			
ΣL=114.0m ※孔口から2m間はストレーナ加工を設けない					

第10号水抜きボーリング工

孔番	掘進長 (取込地盤より)	掘進方位	孔口間隔	勾配	孔口標高
NO. 1	25.0m	N 66.5° E	+5"	107.8m (地盤高)	107.8m (地盤高)
NO. 2	27.0m	N 86.0° E			
NO. 3	31.0m	N 86.0° E			
NO. 4	33.0m	N 86.0° E			
NO. 5	35.0m	N 86.5° E			
NO. 6	36.0m	N 86.5° E			
NO. 7	37.0m	N 88.0° E			
ΣL=224.0m ※孔口から2m間はストレーナ加工を設けない					

第11号水抜きボーリング工

孔番	掘進長 (取込地盤より)	掘進方位	孔口間隔	勾配	孔口標高
NO. 1	25.0m	N 38.0° E	+3"	100.9m (地盤高)	100.9m (地盤高)
NO. 2	15.0m	N 67.5° E			
NO. 3	13.0m	S 83.0° E			
NO. 4	13.0m	S 55.0° E			
NO. 5	13.0m	S 75.5° E			
NO. 6	14.0m	N 65.5° E			
NO. 7	14.0m	N 73.5° E			
NO. 8	21.0m	S 32.5° E			
ΣL=128.0m ※孔口から2m間はストレーナ加工を設けない					

踏査結果 凡例

- 滑动ブロック
- 地すべり方向
- 滑落段差
- 崩壊
- 押し出し
- クラック
- 湧水

調査事項

- 解析測線
- 調査ボーリング
(パイプ計・地下水位観測・地下水流)
- 土質試験箇所

対策工凡例

- 水抜きボーリング工
- 吹付法砕工
- アンカー工
- 孔口保護工(フトン籠工)
- 孔口保護工(張りコンクリート)
- 孔口保護工(ブロック積み壁)
- 植生マット
- 水路工・湧水処理工

令和元年度（補正分）
地すべり対策事業
八幡地区 斜面改良工事

図面の名称	図面番号
10ブロック 対策工法平面図	1 / 10
縮尺: 1:300(A1) 1:600(A3)	
測量	平成 年 月 日終了
設計	
製図	
図検	
複写	

令和元年度（補正分） 農村地域防災減災事業（地すべり対策事業）八幡地区 斜面改良工事

10 測線
地質断面図 S=1:200(A1)
1:400(A3)

160.0

150.0

140.0

130.0

120.0

110.0

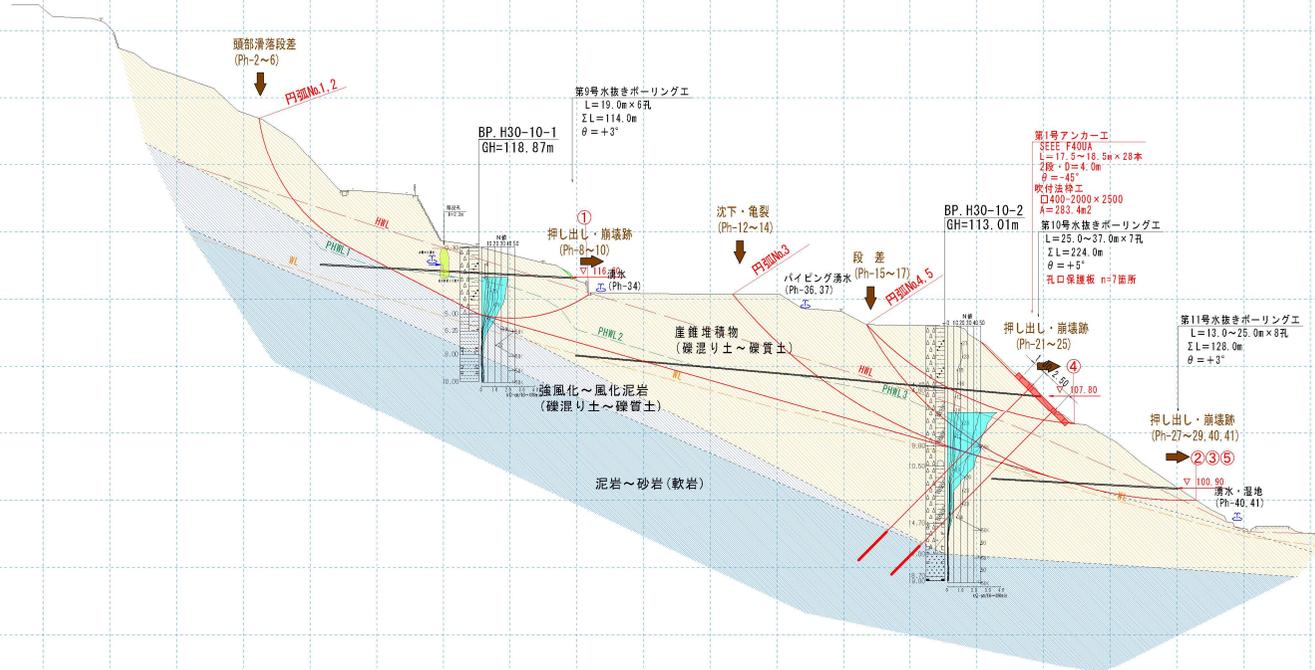
100.0

DL=90.0

安全率一覧表<現地断面>

円環 No.	平常水位		高水位		対策工事		対策工事		対策工事		計画 F _s	土質定数
	WL	F _s	HWL	F _s	PHWL1	F _s	PHWL2	F _s	PHWL3	F _s		
1		1.45		1.00		1.22		1.30				r ₁ =16.87 kN/m ² r ₂ =16.87 kN/m ² C=0.92 kN/m ² φ=24.7°
2	BP_H30-10-1 GL=8.00m BP_H30-10-2 GL=9.50m	1.45	BP_H30-10-1 GL=8.00m BP_H30-10-2 GL=5.64m	1.00	BP_H30-10-1 GL=2.00m BP_H30-10-2 GL=5.64m	1.06	BP_H30-10-1 GL=2.45m BP_H30-10-2 GL=5.64m	1.19	BP_H30-10-1 GL=2.45m BP_H30-10-2 GL=6.75m	1.01	1.17	r ₁ =16.87 kN/m ² r ₂ =16.87 kN/m ² C=0.92 kN/m ² φ=24.7°
3		1.27		1.00		1.00		1.00		1.17	1.20	r ₁ =16.87 kN/m ² r ₂ =16.87 kN/m ² C=0.92 kN/m ² φ=24.7°
4		1.00		1.00		1.00		1.00		1.00	1.20	r ₁ =16.87 kN/m ² r ₂ =16.87 kN/m ² C=0.92 kN/m ² φ=24.7°
5		1.21		1.00		1.00		1.00		1.18	1.20	r ₁ =16.87 kN/m ² r ₂ =16.87 kN/m ² C=0.92 kN/m ² φ=24.7°

<計画断面>



令和元年度（補正分） 地すべり対策事業 八幡地区 斜面改良工事	
図面の名称	10ブロック 地質断面図
図面番号	2 / 10
縮尺	1:200(A1) 1:400(A3)
測量	平成 年 月 日終了
設計	
監原図	
図様写	

AINO.0+6.0

Rn=105.804
Dn=105.54
Pn=105.54
D=4.000

0.40 1.00
0.93
1.50
1.00 0.40

FH=108.55
FH=107.80
FH=106.78

1.1.0

1.00 0.40

1.00 0.40

1.00 0.40

1.00 0.40

1.00 0.40

1.00 0.40

1.00 0.40

1.00 0.40

1.00 0.40

1.00 0.40

1.00 0.40

1.00 0.40

1.00 0.40

1.00 0.40

1.00 0.40

1.00 0.40

1.00 0.40

1.00 0.40

1.00 0.40

1.00 0.40

1.00 0.40

1.00 0.40

1.00 0.40

1.00 0.40

1.00 0.40

1.00 0.40

1.00 0.40

AINO.0+16.0

Rn=106.760
Dn=106.61
Pn=106.61
D=4.500

0.40 1.00
0.57
2.35
1.00 0.40

FH=108.56
FH=107.80
FH=106.78

1.1.0

1.00 0.40

1.00 0.40

1.00 0.40

1.00 0.40

1.00 0.40

1.00 0.40

1.00 0.40

1.00 0.40

1.00 0.40

1.00 0.40

1.00 0.40

1.00 0.40

1.00 0.40

1.00 0.40

1.00 0.40

1.00 0.40

1.00 0.40

1.00 0.40

1.00 0.40

1.00 0.40

1.00 0.40

1.00 0.40

1.00 0.40

1.00 0.40

1.00 0.40

1.00 0.40

1.00 0.40

掘削 = 2.0

掘削 = 4.9

切土法面整形 = 1.4

AINO.0

Rn=105.874
Dn=105.54
Pn=105.54
D=0.000

0.40 1.00
1.15
2.40
1.00 0.40

FH=108.55
FH=107.80
FH=106.78

1.1.0

1.00 0.40

1.00 0.40

1.00 0.40

1.00 0.40

1.00 0.40

1.00 0.40

1.00 0.40

1.00 0.40

1.00 0.40

1.00 0.40

1.00 0.40

1.00 0.40

1.00 0.40

1.00 0.40

掘削 = 1.0

AINO.0+11.5

Rn=106.870
Dn=106.50
Pn=106.50
D=0.000

0.40 1.00
0.73
2.40
1.00 0.40

FH=108.55
FH=107.80
FH=106.78

1.1.0

1.00 0.40

1.00 0.40

1.00 0.40

1.00 0.40

1.00 0.40

1.00 0.40

1.00 0.40

1.00 0.40

1.00 0.40

1.00 0.40

1.00 0.40

1.00 0.40

1.00 0.40

1.00 0.40

掘削 = 1.8

切土法面整形 = 1.0

DL=95.000

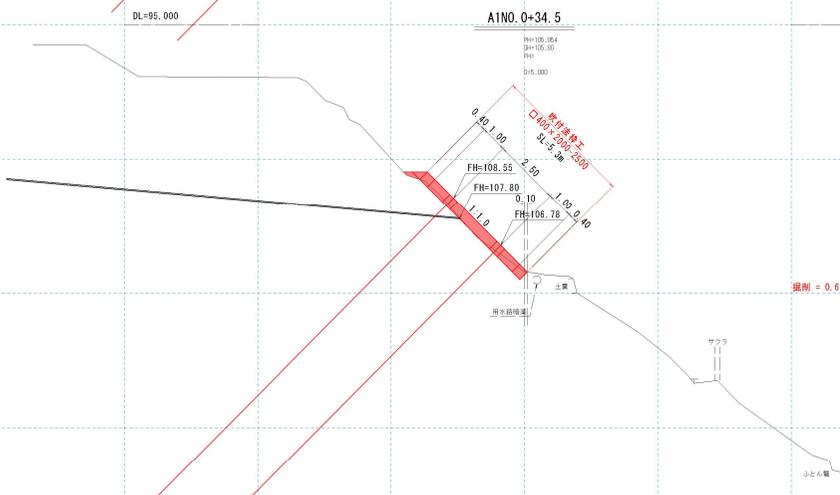
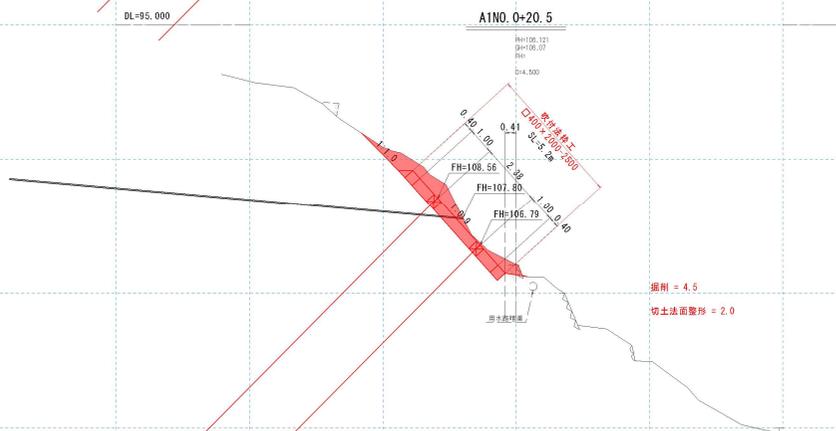
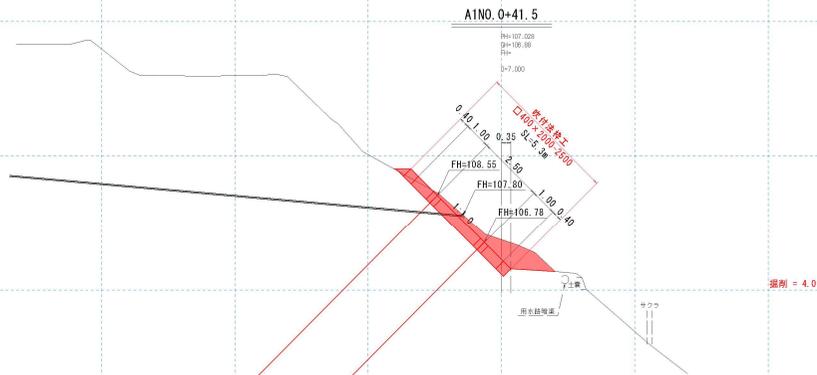
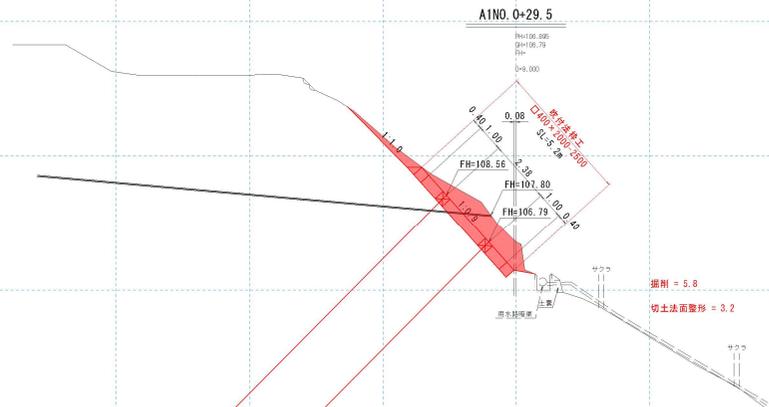
DL=95.000

DL=95.000

DL=95.000

※図中の用水路暗渠工の位置は想定した位置である。
施工時には破損しないように注意すること。

令和元年度(補正分)		
地すべり対策事業		
八幡地区 斜面改良工事		
図面の名称	図面番号	
10ブロック		
第1号アンカー工 横断面図(1)	3	10
縮尺: 1:100(A1): 200(A3)		
測量	平成 年 月 日終了	
設計		
製原図		
図様写		



※図中の用水路暗渠工の位置は想定した位置である。
 施工時には破損しないように注意すること。

令和元年度(補正分)			
地すべり対策事業			
八幡地区 斜面改良工事			
図面の名称	図面番号		
10ブロック			
第1号アンカー工 横断面図(2)	4		
縮尺: 1:100(A1) 1:200(A3)	10		
測量	平成 年 月 日終了		
設計			
製図			
図様写			

AINO.0+50.0

Rn1106.591
Rn1106.44
Rn1106.500

0.50 1.00 0.66
FH=108.55
FH=107.80
FH=106.78
1.1.0 1.00 0.40

斜断面改良工事
C400×200×300
S1.5 34

掘削 = 0.0

原形掘削面

サクラ

DL=95.000

※図中の用水路暗渠工の位置は想定した位置である。
施工時には破損しないように注意すること。

令和元年度(補正分)	
地すべり対策事業	
八幡地区 斜面改良工事	
図面の名称	図面番号
10ブロック	5
第1号アンカー工 横断面図(3)	10
縮尺: 1:100(A1) 1:200(A3)	
測量	平成 年 月 日終了
設計	
製図	
図様写	

横断面
S=1:100

縦断面

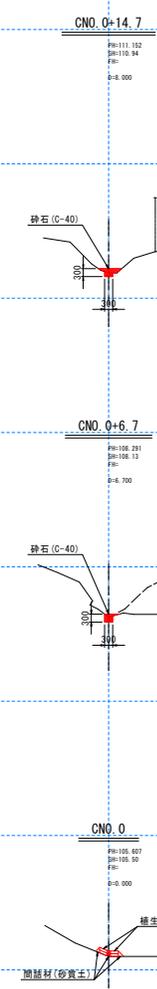
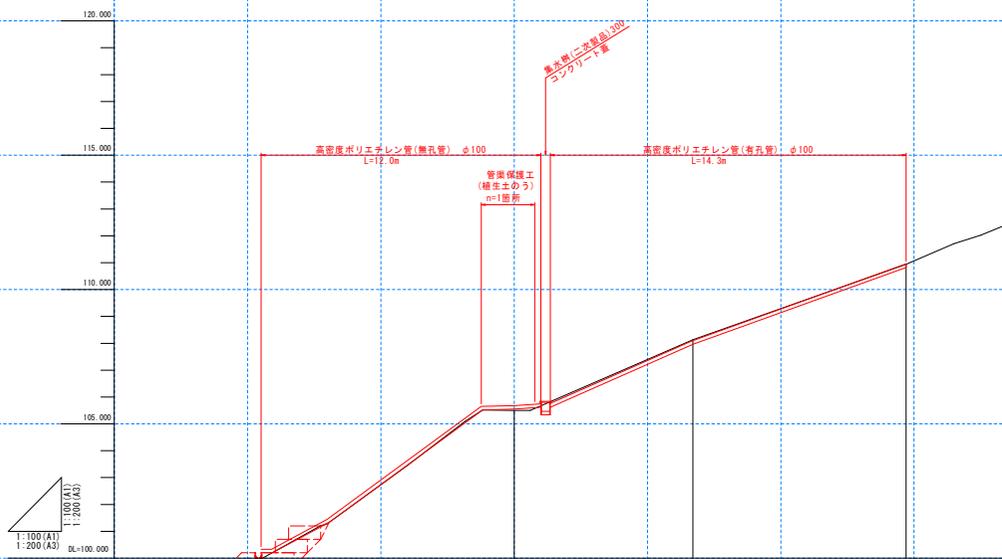


圖	勾配	
	盛土	
本	切土	
	水路底高	
水路底高		105.42
地盤高		107.06
追加距離		10.22
単距離		
測点		+1.00

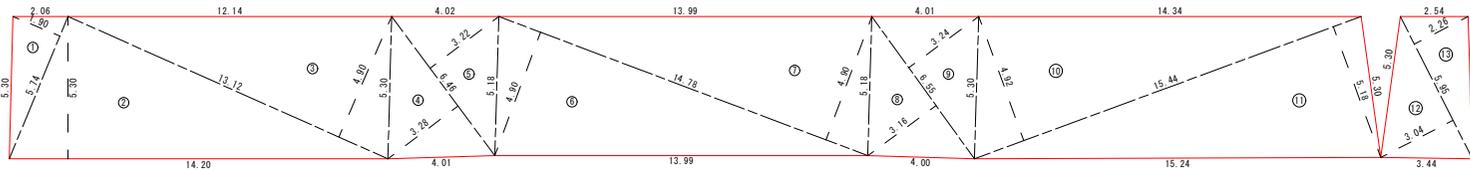
令和元年度(補正分)
地すべり対策事業
八幡地区 斜面改良工事

図面の名称	図面番号
10ブロック 湧水処理工機横断面図	6 / 10
縮尺: 1:100(A1) 1:200(A3)	
測量	平成 年 月 日終了
設計	
製図	
図様写	

第1号アンカー工 吹付法枠工構造図

法枠工求積図

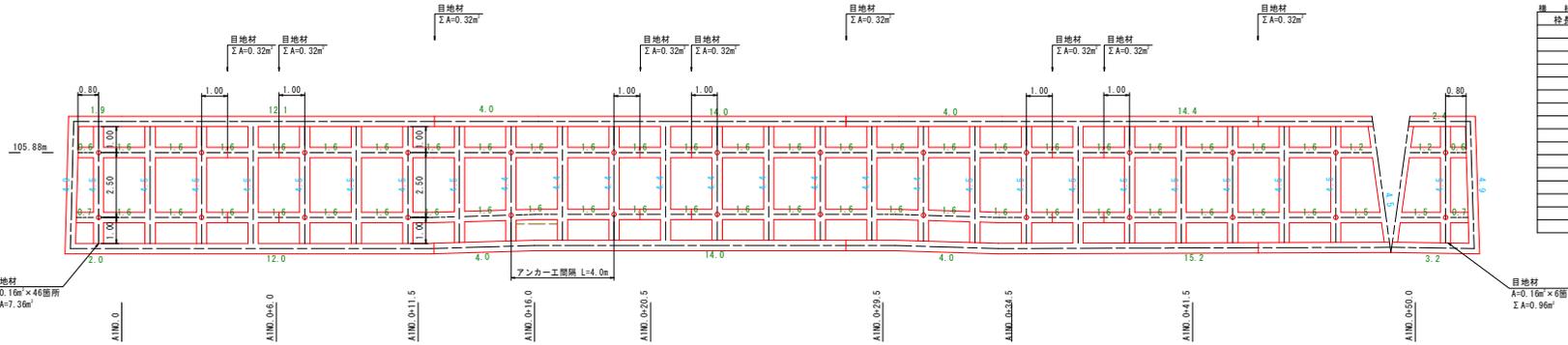
S=1:100 (A1)
S=1:200 (A3)



記号	底辺	高さ	倍面積 m ²
1	5.74	1.90	10.91
2	14.20	5.30	75.26
3	13.12	4.90	64.29
4	6.46	3.28	21.19
5	6.46	3.22	20.80
6	14.78	4.90	72.42
7	14.78	4.90	72.42
8	6.55	3.16	20.70
9	6.55	3.24	21.22
10	15.44	4.92	75.96
11	15.44	5.18	79.98
12	5.95	3.04	18.09
13	5.95	2.26	13.45
倍面積 m ²			566.69
面積 m ²			283.35

法枠工展開図

S=1:100(A1)
S=1:200(A3)

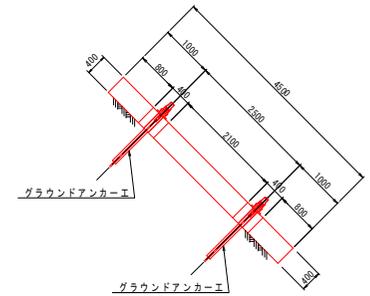


種別	本数	長さ
0.6	2	1.2
0.7	2	1.4
1.2	2	2.4
1.5	2	3.0
1.6	48	76.8
1.9	1	1.9
2.0	1	2.0
2.4	1	2.4
3.2	1	3.2
4.0	4	16.0
12.0	1	12.0
12.1	1	12.1
14.0	2	28.0
14.4	1	14.4
15.2	1	15.2
計	70	192.0

一式当り数量
吹付法枠面積 = 283.4 m²
枠延長 = 322.4 m
枠用モルタル = 51.6 m³
ラス張り = 283.4 m²
養生基材吹付 = 154.4 m²
目地材 = 11.20 m²

標準横断面図

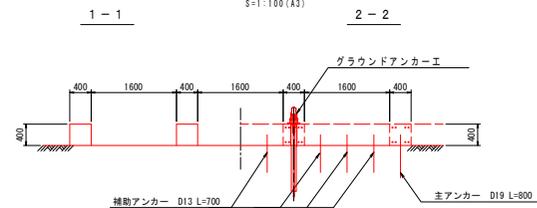
S=1:50 (A1)
S=1:100 (A3)



●はグラウンドアンカー工施工位置
グラウンドアンカー工は上段の高さを基準に配置すること。

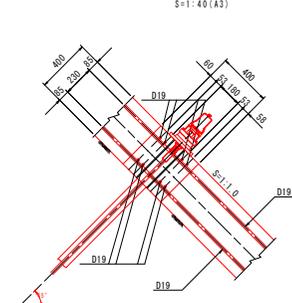
断面図

S=1:50 (A1)
S=1:100 (A3)



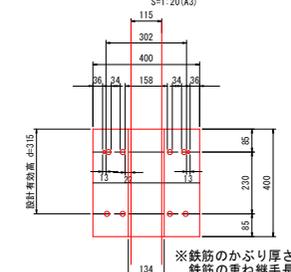
A-A断面図

S=1:20 (A1)
S=1:40 (A3)



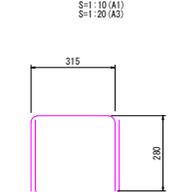
枠断面図

S=1:10 (A1)
S=1:20 (A3)



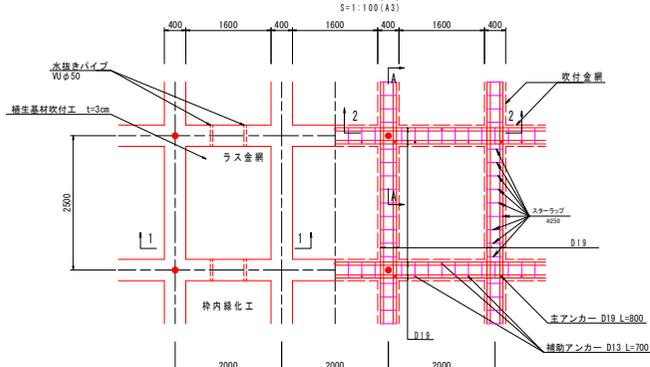
スターラップ筋

D13 @250
S=1:10 (A1)
S=1:20 (A3)



展開図

S=1:50 (A1)
S=1:100 (A3)



使用部材の強度及び材質	
吹付モルタルの設計基準強度	$\sigma_{ck}=18\text{N/mm}^2$
鉄筋の材質	S D345

※鉄筋のかぶり厚きは36mm以上とすること。
鉄筋の重ね継手長は、665mm以上とすること。

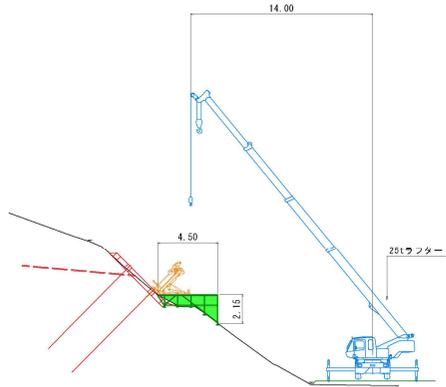
令和元年度(補正分)
地すべり対策事業
八幡地区 斜面改良工事

図面の名称	図面番号
10ブロック 第1号アンカー工 吹付法枠工構造図	7/10
断尺: 図示	
測量	平成 年 月 日終了
設計	
製原図	
図複写	

令和元年度（補正分） 地すべり対策事業 八幡地区 斜面改良工事

仮設計画平面図
10測線

ボーリングマシン搬入計画

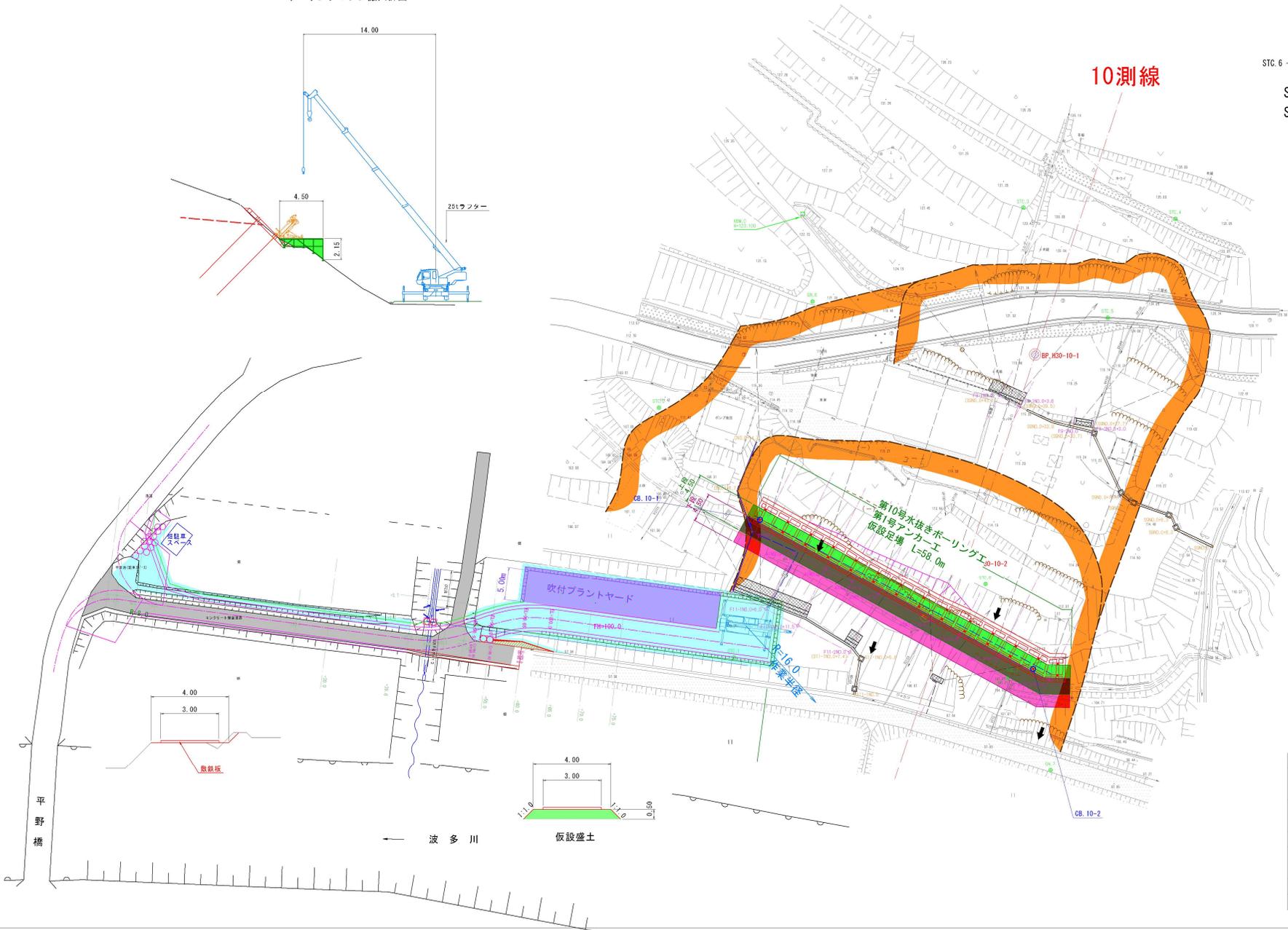


N
磁北

STC.6 - STC.5 SB7 Eを基に設定

S=1:300 (A1)
S=1:600 (A3)

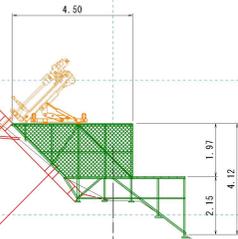
10測線



令和元年度（補正分）
地すべり対策事業
八幡地区 斜面改良工事

図面の名称	図面番号
10ブロック 仮設計画平面図(参考)	9 / 10
縮尺: 図示	
測量	平成 年 月 日終了
設計	
製図	
図写	

第1号アンカー工
(上段)



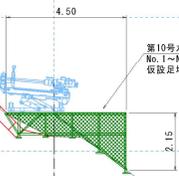
仮設足場 = 6.9

DL=95,000

A1N0.0

冊105.014
冊105.04
冊

第10号水抜きボーリング工



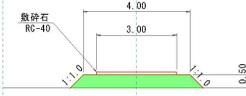
第10号水抜きボーリング工
No. 1 ~ No. 7
仮設足場

仮設足場 = 4.4

DL=95,000

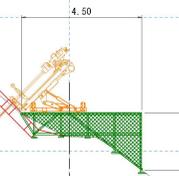
工事用道路標準断面図

①-①



嵩土(土砂) = 2.3

第1号アンカー工
(下段)



DL=95,000

令和元年度(補正分)
地すべり対策事業
八幡地区 斜面改良工事

図面の名称		図面番号
10ブロック 仮設計算標準断面図(参考)		10
縮尺: 1:100(A1) 1:200(A3)		10
測量	平成 年 月 日終了	
設計		
製図		
図様写		

